

病棟内デイケア  
in B2病棟



スタートから3ヶ月。B2病棟での『病棟デイケア』の活動を紹介します。

今週号のIngは・・・、土曜日の午後3時。B2病棟のホールから、ほんのりと「コーヒーのいい香り」が立ちこめてきました。果たしてその新たな取組みとは・・・。

病棟デイケア 1日の流れ

- 10:00～ 病室からホールへ移動
- 10:00～11:00 ちぎり絵や、塗り絵など
- 11:00～11:20 口腔体操
- 11:30～12:30 昼食(ホールにて)
- 12:30～15:00 病室でゆっくりと
- 15:00～16:00 TAMAE CAFE 

昨年11月、B2病棟にかかわる看護スタッフ、リハスタッフ、事務スタッフ数名で、先駆的に病棟デイケアを取り入れていた『姫野病院』、『青洲会病院』へ施設見学に出かけました。いよいよ、準備段階は最終局面へ。準備段階であれこれと悩んで一歩を踏み出せないよりは、「まず、やってみよう!」ということに奮起!今年一月より、週二日・毎週土曜日のペースで、**病棟デイケア**がスタートしました。さらに、三月からもう一日増やし、木曜日、土曜日の週二日行っています。スタッフは看護師のサポートのもと、看護補助者の井上さんと吉原さんを中心に行っています。デイケアの参加人数は毎回10数名。ほとんどの方が、車いす利用の方々です。病棟デイケア初日は、午前中の活動で疲れてしまい、午後は「腰が痛い」、「寝たい」と、ほとんどの方は病室へ戻られてしまいました。参加回数を重ねていく度に、滞在時間がのびてきました。デイケア開催後は、スタッフ間で毎回反省会を行い、次につながる意見を出し合っています。

デイケア風景



わあ～!  
ステキな作品が  
できましたね!



ホールの壁の『日めくりカレンダー』になりました。

そもそも、なぜ病棟の中でデイケアを取り入れる必要があるのか…という素朴な質問をB2病棟・土橋師長へ投げかけてみました。ぼーくんレポーターの登場です。



「病棟デイケア」を始めた目的は何ですか？

B2病棟は、「地域包括ケア病棟」の機能に変わり入院患者さんのほとんどは高齢の方です。病状が安定されてからも、1日の大半をベッドの上で寝て過ごしていたのでは、昼夜逆転のリズムに陥りがちです。何とか退院するまでには、今まで過ごされてきた日常の生活リズムを取り戻してあげたいと思っています。楽しく過ごしていただく事で、離床時間を長く確保できるように行っています。



「病棟デイケア」を始めてからの変化はどんなことがありましたか？

参加する回数を重ねていく内に、顔色が明るくなった患者さんが増えました。また、手先が器用だったり、絵が上手だったり患者さん達の知らなかった一面を見ることができ、それをきっかけに患者さんや患者さんの家族とも会話が増えました。



普段は口数の少ないAさん。「絵がとても上手です」と声をかけた事をきっかけに、看護スタッフに心を開いてもらえるようになり、退院される日にはAさんの方から「今日で退院です。」と、話かけてくれ、とても感激しました。



「病棟デイケア」は今後どのようにしていきたいですか？

あくまでも病棟ですので、無理をすることなく、患者さん一人一人のペースに合わせた病棟デイケアにしていこうと思っています。

病棟デイ実施の夜は、ナースコールの回数が減っています

デイ前日	ナースコール	不穏等	デイ当日	ナースコール	不穏等	比較
2/5	23	5	2/6 (n14)	12	9	-7
2/12	7	5	2/13 (n9)	6	0	-6
2/19	28	10	2/20 (n14)	10	3	-15
2/28 (翌日)	17	0	2/27 (n10)	7	2	-8
平均	18.75	5	↑ nはデイ参加人数	8.75	3.5	



TAMAE CAFE

午後はゆっくり、カフェタイム。会話も聞こえてきます。

「病棟デイケアを盛り立て、ただ今奮闘中のふたりにお話を伺いました」



■井上さん

患者さんは一人一人、作業レベルや、集中の度合いや好みも違うので、題材を選ぶ際、工夫が必要となりとても難しいです。また、次回も参加したいと思っていただけるよう頑張ります。



■吉原さん

まだ始めて3ヶ月。手さぐり状態で行っています。患者さんの反応を見ながら、色々なことにチャレンジしていきたいと思っています。自分も楽しめるようなデイケアにしていこうと思います。